

げ すいし ょ り じょう ちようじゅみよう か  
**下水処理場の長寿命化**

**Q みんなの家庭からでた汚水はどこへいくの？**

**A** みんなの家庭や学校からでた汚水(トイレの水・お風呂の水・洗濯機の水・台所の水など)は地下の配管を通して下水処理場にながれてきます。

**Q 下水処理場とは？**

**A** 下水道管を通して下水処理場まで流れてきた汚水は微生物がよこれを食べることできれいにされています。そして、その過程ではたくさんの機械を使っています。  
このように汚水をきれいにするところを下水処理場といい、宮崎市には6箇所あります。

**Q 下水処理場の機械はどのように管理しているの？**

**A** 下水処理場ではたくさんの機械を使用していて、特殊で高価なものばかりですから、少しでも長く使えるように、毎日の整備や点検をおこなって大切に使っています。  
しかし、それでも機械が古くなってくると、さびたりして使えなくなってしまうので、みなさんの家庭や学校からでた汚水の処理ができなくなってしまうので、そうならないように機械が壊れてしまうまえに新しくしています。

**Q 長寿命化計画(ちようじゅみようかけいかく)とは？**

**A** 部品交換をおこなったりして機械を少しでもながく、そしてコストもなるべく安くなるように機械の延命化を計る計画のことを長寿命化計画といいます。宮崎市では、すでに長寿命化計画を始めています。

今後は、全ての下水処理場や施設を、長寿命化計画に基づいて実施していくことで、下水道の安心・安全を守っていきます。



写真のように機械の部品だけを交換することで、できるだけ安いお金で長く機械を使うことができます。

